

## 第39回「若手の会」 “Associated meeting for youth development”

中西 英貴

Hidetaka NAKANISHI

オンライン開催となりました軽金属学会第139回秋期大会2日目の昼食時間帯（2020年11月8日（日）、12:20～13:10）に、第39回若手の会をオンライン開催しました。今回は、大学9名（内学生4名）、企業12名の合計21名に参加いただきました。

これまでと異なり、オンライン開催となったため、各自で昼食を用意して頂き、昼食をとりながらの開催となりました。

講演内容としては、株式会社UACJの黒崎 友仁 氏から話題提供頂き、自己紹介、会社紹介と社会人博士課程の経験についてお話し頂きました。社会人となってから博士号を取得するモチベーションやその意義、通常業務とのバランスの取り方、学生との研究生活など多岐にわたって経験を語って頂きました。これから博士課程を目指す学生の皆さんや、社会人博士課程に興味をお持ちの企業の方々などには大変参考になったのではないのでしょうか。質疑として、学生からは博士号を取得する前後で大きく変わったことは何か？企業からは博士課程と通常業務のバランスの取り方で工夫したことは？などの質問が挙がりました。大学の先生からは社会人博士課程受け入れに対するポジティブなお考えなどもコメント頂きました。

今回は講師の黒崎氏に対話形式で進めて頂いたこともあり、上記のように多数の質問やコメントが挙がり、会合として大変盛り上がりしました。（図1、図2）

次回の軽金属学会春期大会もオンライン開催が予定されております。今回の形式を踏襲しつつ、更に多くの若手の皆さんのご参加をお待ちしております。

なお、通常では学会前日の金曜日に実施していました「若手育成のための合同会合」はコロナ感染予防として、今回は開催中止と致しました。次回大会ではオンライン合同会合が開催できるように検討していきたいと考えています。改めて案内は発信しますので、奮ってご参加ください。

最後になりましたが、Web会場の準備や当日のサポートにご尽力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

若手の会では若手交流の場を提供できる企画を考えていきたいと思っています。若手の会の活動内容に対して、ご意見・ご希望などございましたら以下の若手の会のメールアドレスまでご連絡ください。皆様の声をお待ちしています。



図1 若手の会（オンライン）の様子（1）



図2 若手の会（オンライン）の様子（2）

若手の会世話人：千葉工業大学 寺田 大将  
室蘭工業大学 佐々木 大地  
日本軽金属株式会社 清水 裕太  
株式会社UACJ 中西 英貴(文責)

若手の会メールアドレス：keikinwakate@gmail.com